

地域にはばたく市民パワー！



ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2018年7月号(第118号)

発行責任者 佐藤 重松



文化祭 同級会音頭

懐かしの映画・鑑賞会

2018.6.6 所沢中央公民館ホールにて



ところざわ倶楽部 恒例文芸講座開催！

東北文学「故郷とどう向き合うのか」

及川先生

ところざわ倶楽部恒例の文芸講座(4回)第1回が6月22日に(95名満席)開催されました。

この度の文芸講座は、葵の会の協力を得て企画運営をすすめることになりました。

その中で及川先生をご紹介され、先生はお忙しいところ快くお引き受け下さいました。

及川先生と葵の会・事業部三者の打ち合わせで「故郷とどう向き合うのか」をテーマに、東北文学の連続講座が構成されました。

① 柳田國男・②宮沢賢治・③太宰治・④若竹千佐子と、今迄の文芸講座とは趣が異なり、各回違う作家・作品が登場する彩のある文芸講座となりました。

第1回の「遠野物語」は、明治時代の故郷で生涯を過ごした人々の逸話・伝承をもとに、柳田國男が遠野の人佐々木鏡石(喜善)君より聞き、一字一句をも加減せず感じたるまま書いたものと云う。

及川先生は、最初に講座(4回)全体のプロローグとも言うべき「故郷」について語られました。

我々世代が、昭和30年代から40年代に故郷を離れ「戦後の復興」と「高度成長」時代を駆け抜け、いま、「郷愁と懐旧」が交叉する年代となって、心の何処かに「故郷」の山河や親・兄弟姉妹・同窓の友をしみじみ想う。

今回の文芸講座は、そのようなことを考えさせてくれるのではないかと思います。(事業部/佐藤)

文化祭 展示部門 感想

多彩なジャンルの自己流表現の場

文化祭の展示部門に我々「絵を描くグループ」の作品を出さないかとの打診があり、メンバーで相談し出品することになる。最近描き始めた人、独自に描いてきた人、経験年数のある人。水彩、水墨、



制 作 者 / 道江 義頼氏
作 品 名 / 絵画 牡丹

筆ペンとジャンルもまちまち。それでも、発表の場があれば、描く意欲も高まり持続していくとの結論になりました。

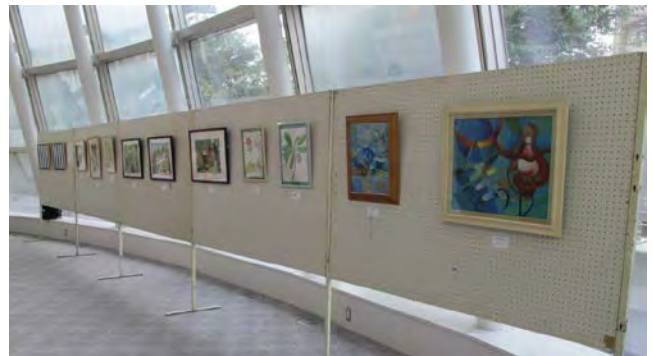
私は、趣味は自己流表現

でいいと思っています。それが個性表現であり、上手下手は二の次三の次。それこそ高齢者の特権です。70歳からでも趣味を始めるのはお勧めです。私の知っている方に80歳になってから水墨画を描

活いきシニア福祉の会 道江 義頼

き始めた方もおります。新しい目標ができたり、新しい仲間ができたりするよい機会にもなります。

ものをつくるのは、認知症予防にも役立つと言われています。つくる、作る、造る、創る。何かをつくるとき、自分なりに考える→いろいろな刺激を受ける→意欲がわく→受け身にならない。今回の多彩なジャンルの展示を観て、自分表現の機会はじつに多様だと改めて感じました。



会 場 風 景

文化祭の「和太鼓と踊り」に参加して

懐かしの映画・鑑賞会 後藤 良子

私達の所属している「懐かしの映画鑑賞会」では文化祭に盆踊りをする事になった。曲は「所沢音頭」、「同級会音頭」、「炭坑節」の3曲。子供の頃町会の盆踊りで友達と炭坑節などを踊ったのが思い出される。当時子供達は8時迄踊り、アイスキャンディーを1本もらい帰ったのが懐かしい。



文化祭の懐かしの映画・鑑賞会 会員

以来60年ぶり位の炭坑節！リーダーをはじめ踊りの上手な人が先頭になり、映画を観たあと毎回会員揃って盆踊りの練習をした。3曲同時に習った

ので、最初はゴチャゴチャになってしまい果たして完成するのか心配したが、何回も練習しているうちに何とか様になってきた。段々踊れるようになると楽しくなってきた。皆さんニコニコ笑顔で大きな声も出てきた。文化祭2日前の予行演習。踊りは大丈夫となったが、盆踊りの時に着る半纏に掛けるタスキの練習！長い紐の端を銜えて腕に掛け首に掛け等々……これが難しくあーだこーだやってみたが、なかなか上手くいかない。皆で『これじゃ〜高田馬場の助太刀に行けない』と大笑い。発表会当日、始めは皆緊張していたが、踊り始めたら緊張もほぐれ、太鼓に合わせ笑顔で楽しく元気よく踊れた。何回も練習した成果が出て今までで一番の出来だったと思う。盆踊りは天照大神の太古から人々の心を結び癒す大きな力だったように思う。たまには童心に返り踊ってみたいと思う。

写真で見る文化祭（舞台部門）

第6回文化祭は、舞台部門と展示部門それぞれ優れた内容で充実していました。

舞台部門の内、何点かご紹介いたします。（敬称略）

（写真提供者：仲山 富夫、橋爪 良輔、中島 峯生）



佐藤会長 挨拶



民話の会 民話の語り
（所沢小での活動報告）



民話の会 民話の語り
（とんぼの宿り木他）



野老澤の歴史をたのしむ会
（所沢駅の不思議）



所沢シニア世代地域デビュー支援の会
（チアダンス）



スマイル・パイレーツ
（観客の参加シーン）



食を通して所沢を知る会
（フードバンク 舞台会場）



食を通して所沢を知る会
（フードバンク 展示会場）



活きいきシニア福祉の会
（100歳体操）



とことこバンド 演奏
（ブルーシャトーほか）



ドラマティック・カンパニー
朗読劇（ハムレット）



懐かしの映画・鑑賞会
（同級会音頭ほか）

ミニ講演会

「種子法廃止とこれからの日本の農業について」

所沢の自然と農業サークル 清水 仁一



元、農林水産大臣で「日本の種子（たね）を守る会」の発起人であり顧問山田正彦氏による講演でした。「種子法廃止とこれからの日本の農業について」真剣に考え実行動している方で、内容も話し方も説得力のある有意義な話でした。

な話でした。

講演の中心テーマである「種子法廃止」による問題点は、食の安全・私たちの命と直結した内容であり、更には、日本経済にも大きな影響を及ぼす恐れもあることなど、テレビやインターネット、新聞などの表面的な情報だけで「ボーっと生きている」私には衝撃的な話でした。又、世界では食料自給率の観点からも農業基盤強化を図り、遺伝子組み換え食品から国民を守ることを率先して進めているのに対して日本の散々たる現状対応に、私たち国民が情報も行動も乏しく「政治が悪い」で済ませて来ているのを一寸恥ずかしく思いました。

背景にある TPP 協定では多国籍企業に種から作り方、販売まで牛耳られることになるとか、自家採種まで罪になる等、理不尽ばかり感じる中で「日本の種子（たね）を守る会」等の



活動などにより、「種子法を復活させる法案」が国会審議の場には上がったり、マスコミと地域行政で地域農業を守る活動が広がったりしてき

ているとの話を聞いて多少安堵しました。

講演後の多くの方との質疑応答も幅広い内容で活発に行われ、講演テーマの幅の広さと奥行きを感じました。

山田氏は、今回の様なミニ講演会にも足を運んで頂き、明日は、TPP 協定批准反対！ 国会前抗議行動にも参加されるとのことで、言行一致の取り組みには感動し、何か支援することが出来ないか考えたいと思いました。

「食の安全とタネの話」を聞いて

食を通して所沢を知る会 岡部 まさ子



戦後、私達の食生活を支えてきた米、麦、大豆などの主要農作物種子法が、今年3月末で廃止されました。この種子法によって、それぞれの地域の気候風土に合った品種の改良、開発、種の保全や安定供給が守られてきましたが、今後は遺伝子組換え企業の種子市場への参入が予想されます。

食の安全性、種子の安定供給は守られるのでしょうか。私達の食生活への影響について、「日本の種子（たね）を守る会」顧問 山田正彦氏（元農林水産大臣）にお話を伺いました。

種子法は種子が途絶えて、人々が飢える事のない

ように定められた法律です。米、麦、大豆の奨励品種の種子供給を都道府県に義務付けて、食糧生産に対する国の責任を定めています。規制改革、成長戦略という名の下に、廃止によって日本人の主食であるそれらの「公的種子」の維持が危ぶまれる恐れがあります。

世界の種子市場の売上の8割がモンサントやデュポン等8社で占められ、それらの企業が開発する遺伝子組換え作物は、特定農薬に耐性を持ち、種子と農薬をセットで販売するという戦略をとっています。日本で生産されている野菜の種子の9割が海外産との事です。種子の画一化は食の支配に繋がっていきます。また、それぞれの地域の食文化や特性が失われていく可能性があります。先人達が培ってきた日本の食文化を守り、次世代につなげていく事の大切さを改めて考えさせられました。消費者である私達の食に対する意識が食の安全性や安定供給を守っていくのではないのでしょうか。

「生きることは食べること、食べることは生きること」

「戦争と平和！」 第2回

沈黙の代償

西脇 英夫

昭和 19 年国民学校 4 年の春に、名古屋から南へ 2 時間のどかな知多半島の海辺へ一家で疎開しました。間もなく担任が応召して去り、女性の先生に代わりました。毎日の軍事訓練では、学校へ配属の軍人がやたらと威張っていました。ひよわな都会っ子でしたが加藤隼戦闘機隊長、西住戦車隊長に憧れ、50 歳だった父に「どうしてお国のために戦争に行かないの？」と尋ねる軍国少年でした。



西脇氏 3 歳
お兄様 5 歳

三重県の軍港・四日市が空襲で夜空を焦がして燃える様子を伊勢湾越しに対岸から見ました。航空機の製造工場が多かった名古屋は何度も空襲があり、我が家にも焼け出された人が何家族も住み着いていたそうですが、終戦の 2 か月前、B29 による爆撃でピカピカに柱を磨いていた生家も

名古屋城もまる焼け。

10 歳で終戦、食糧難・インフレの激動の戦後生活を親の苦労も知らずに”我は海の子”で過ごしました。従兄らが中国戦線から帰国の挨拶に来て、父と戦争の話をしているのを聞きました。村を襲い床下に隠された食糧の収奪、数珠つなぎの匪賊に見せしめなど、憧れた皇軍とは真逆の姿…。支那人（当時は”チャンコロ”と蔑んでいました）を鞭打ち軍務にコキ使っていた話も。「カイカイデー」（中国語で”急げ”の意味）の語をまだ覚えています。

東京軍事裁判の新聞記事を読み聞かせてくれた母はガンで中 1 の夏に他界。中 3 の時に湯川秀樹博士のノーベル賞受賞講演を焼け残った市立講堂で聴きました。よく理解できませんでした。後年、原水禁運動に熱心だった博士の温厚な語り口が印象的で、不遜にも、あんな科学者になりたいと思いました。

ノンポリの大学生活から公務員試験を経て科技厅に。航空宇宙技術研究所（現 JAXA）でジェットエンジンの研究に従事し、40 歳のとき 400

名近い研究職員の組合結成に呼応、「研究の民主・公開」、「軍事研究に非加担」、「天下り反対」を訴え、第 1 期の書記長に。やがて日本科学者会議の委員も。当時は防衛庁も制服も白眼視する風潮があり、軍需産業に携わる企業の研究者は学会でも小さくなっていました。今日、膨くれつつある軍事委託研究予算に群がる官民の研究機関に今昔の感を覚えます。湯川博士の教えは風化してしまったのでしょうか。

直行便がなかった 30 年前には、宮古島トライアスロン大会に出場の際に那覇空港で乗り継ぎでしたので、沖縄各地で戦争の悲惨さと内地人（ヤマトンチュー）の横暴さを見聞しました。海軍壕では、「沖縄県民かく戦えり、後世、沖縄県民に格別の配慮を」と本国に最後の打電のあと自決した大田海軍司令官のことを知り涙しました。オスプレイの危険性など沖縄基地問題に心を痛めています。

以下に私の思いを

● 戦争の原因。民族間・宗教対立。経済の締め付け。領土（資源）の争奪…。周囲の雰囲気にあおられズルズル泥沼にではなく、戦争の費用対効果を冷静に分析しよう。「孫子の兵法」は、開戦の前にグランドデザインを描けと言っています。

● 戦費と災害。膨大な軍事費と犠牲の大きさを考えよう。（国家予算に占める日本の軍事費の割合は 1944 年 85.5%、2017 年 5.3%。また、第 2 次大戦の戦争犠牲者はソ連 2000 万人、中国 1000 万人、日本 310 万人です）

● 戦争・紛争の陰に、それで儲ける仕掛け人がいることに気づこう。

人間の叡智とは、「過去の教訓を生かす」ではないでしょうか。付和雷同・沈黙の代償はあまりにも悲惨です。

抜本策は、国連の安保理、国際司法裁判所の権限強化です。各国とも軍事予算の大半を国連に供託し、平和維持・監視活動を強化すれば、やがて各国の軍事費はゼロに。そして福祉、医療、教育は充実し

「地球惑星は平和な樂園に」

Yes, we can !

サークル活動報告

見えないものに導かれて

ドラマティック・カンパニー 大木 美和子

シェイクスピア、と云って多くの方がまず思い浮かべるのはハムレット(?)ではないでしょうか。



そしてハムレットと云えば誰もが知っているあの台詞。「生きるべきか死ぬべきか・・・」。こんなに有名な物語であるにも拘わらず、ストーリーをちゃんと知っている人は意外と少ないのかもしれない。今年の文化祭での朗読劇の演目は、そのハムレットに決まりました。上演するに当たって、まずしなければならないのは台本作りです。膨大な台詞で埋め尽くされた物語のどの部分を抜粋するか。そして省

略した部分は、聴いて下さる皆様に筋書をしっかり把握して頂けるようナレーターの語りによって補います。その文章を作る等の作業も経験豊かな先輩がアツという間に仕上げました。これで大方の準備は整いました。そして配役。主役のハムレットは、もう一人のメンバーと私との共演です。それにしても、朗読など全く興味も関心もなかった私が舞台に立つ。そして楽しんでいる。

こんなふうに人生は予想もしない筋書に導かれるから面白いです。ご指導下さっている笠松先生作曲の音楽が静かに流れる中、皆でスポットライトを浴びる興奮。貴重な体験が出来た事、ドラカンの素敵な仲間に出会えた事に感謝いたします。



フラワーアレンジメントで脳活

脳活サークル 安田 好子

非日常を味わい脳の働きを活性化させようと材料費込みで500円を設定した。私の脳活が始まった。花器は何でもよい。例えばペットボトル、カゴほか家にあるものを探す。花材をどうしようか。葉物、花のある人は持ち寄る。花は常に依頼している花屋に注文した。どのような花器に挿しますか?と



なかったがボリュームのある花を準備してくださった。花屋も脳活が出来たことでしょう。

問われたが私自身全く見当がつかなかった。花+オアシス(花を固定させる物)を500円をお願いしますと伝えたら、エッ?と絶句された。結果550円に



さて、当日参加者は沢山の葉物、紫陽花を持参し、花器もユニークであった。ペットボトル、茶筒、カゴ等々。各自花を活着している時は花器と花材のマッチング、形の構成、美の構成(色彩)一瞬にして多要素を考慮して挿し始めた。今までに培った感性を発揮し、同じ作品はひとつもなかった。流石年の功、力作揃いでした。私も参加者も大いに脳活が出来たし、自分の作品に満足であった。

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

1. 葵の会（水上 俊彦 2922-6420）

7月12日(木) 13:30～15:30 中央公民館
講師 竹内好夫 観世流師範
第4回「平家物語」と能「敦盛」・「忠度」(最終回)
8月 暑気払い 日時・場所未定

2. アジア研究会（玉上 佳彦 090-2497-1076）

7月25日(水) 13:30～ 中央公民館
戦争体験を聞く会(予定)
9月19日(水) 13:30～ 中央公民館 (予定)
中国南シナ海進出問題を考える／稲村会員報告

3. 活いきシニア福祉の会(川上紀春 090-5573-2548)

7月23日(月) 11:00～13:00 松井公民館
2階学習室 1・2号 定例会
「私たちにとっての地域包括支援センターとは」
講師 佐藤清子氏(松井西包括支援センター長)
8月 暑気払い 日時・場所未定

4. 楽悠クラブ（福田 晴男 事前連絡は不要です）

7月17日(火) 13:15～ 中央公民館 3階 8・9 学習室
ヴェルディ歌劇「イルトロヴァトーレ」
ジェイムズ・レヴァイン指揮メロポリタン歌劇場管弦楽団
8月 暑気払い会(日時、場所未定)

5. 食を通して所沢を知る会(園田 ヒロ子 090-4005-1882)

7月9日(月) 池袋中華街 (暑気払い)
集合場所: 所沢駅 12:30
8月 休み
9月4日(火) 時間未定 スパイス工場見学会(上尾)

6. 地域の自然を考える会(岩本 賢次 2923-9324)

7月24日(火) 10:00～12:00 12号地生保全整備
作業: 下草刈り、常緑樹の除など。作業ご希望の方、北中
グランド西側のHロ 12号地に、現地参集ください(事前申し
込み不要)

7. 地球環境に学ぶ(中島 峯生 2928-1161)

7月17日(火) 9:00～11:00 新所沢東公民館 定例会
環境持寄り学習、DVD「沈黙の春」鑑賞、他
8月 夏休み
*DVD「不都合な真実2」 サークル・個人に貸出します。

8. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会(田口 元也 090-9820-5668)

7月11日(水) 13:15～15:00 中央公民館 定例会
議題 ①講座 第7回「なんでも塾」企画検討
②地域サロンの検討
7月7日(土)、14日(土) 13:00～チアダンス練習日

9. 所沢の自然と農業(清水 仁一 2944-8835)

7月12日(木) 13:00～ 新所沢公民館 定例会
7月19日(木) 15:00～ 柳瀬荘黄林閣見学会と暑気払い
8月は夏休みです。
サークルの活動計画はありません。

10. 野老澤の歴史をたのしむ会(小川 雅愛 2907-9476)

7月19日(木) 13:30～15:30 中央公民館 3F 学習室 8・9
講座「明治維新と廃仏毀釈」 講師 谷和夫 氏
8月2日(木) 13:30～16:00、16:30～新所沢公民館ほか
渡辺隆喜先生を囲む座談会「田中正造」&DVD、暑気払い

11. ドラマティック・カンパニー(柳澤 千賀子 2968-5035)

7月7日(土) 10:00～12:00 中央公民館
7月21日(土) 10:00～12:00 新所沢公民館
(21日は活動終了後、暑気払いを予定しています)
8月は4日・18日を予定しておりますが、流動的です。

12. 懐かしの映画・鑑賞会(二上 拓夫 080-1250-6151)

7月10日(火) 10:00～12:30 西新井町会館
邦画「二十四の瞳」(54年) 高峰秀子・田村・天本
7月24日(火) 10:00～12:30・～15:00 西新井町会館
特番映画「謎の映画？」+ 暑気払い
そうめんパーティー・文化祭のご苦労さん会

13. 脳活サークル(加曾利 厚雄 2939-2308)

7月23日(月) 13:30～16:00
こどもと福祉の未来館 1F 2号室
「市民大学―脳の科学G・W発表内容から」
「脳活なる体操」

14. 北欧の会(樋口 俊夫 090-6483-7993)

7月例会、8月例会はお休み致します
9月4日(火) 10:00～12:00 新所沢東公民館
第87回例会 持ち寄り学習 他

15. 傍聴席(石堂 智士 2947-0835)

7月17日(火) 14:00～16:30 新所沢東公民館 学習会
出前講座「学童保育について」こども未来部 青少年課
会員からの質問への回答と質疑応答
8月夏休み、9月17日(火)「会員フォーラム」予定

16. 民話の会(仲山 富夫 090-3902-0283)

7月20日(金) 10:00～13:00 こどもと福祉の未来館
定例会「河童のお伊勢参り」「滝の城の竜」他読み合せ
8月 アンジューム所沢での「お話を」を予定
9月27日(木) 柳瀬地区民話由來地巡り

理事会報告

6月11日(月)第7回理事会開催
◆事業部:6月6日実施した文化祭について評価と反省を行いました。6月22日から始まる文芸講座受講者は予定の90名を超えました。9月開催予定のサークル発表会は中止。倶楽部会員から講師を選出し講演会を開く方向となりました。
◆総務部:9月6日25期修了生対象にOB3団体説明会が開催されます。7月理事会でプレゼン方法を検討します。

次回理事会 7月9日(月)新所沢東公民館 研3号

みんなの広場 第6回

地域の自然を考える会

海老澤 愛之助

終の棲家 所沢

私が所沢市に住みだしたのは、昭和57年からで自分で関わった住宅地に住むと言う夢を現実にして、自治会活動やサークル活動に関わり、多くの人とお近かつきになることができました。現在は、「お達者倶楽部」で推進委員、会員計30名規模の高齢者が元気であるための会を結成し、「とこしゃん体操」「百歳体操」「カラオケ」を中心に、月4回の活動を行っています。

頭が痛いのは後継者がみつからない事と男性の方の参加が少ない事です。男性も現役を卒業してから家を出ての社会参加が考えられると良いのですが。ところざわ倶楽部に参加している方々は是非引きこもりの男性を表に出すことを考えて頂きたいと思います。これは、ところざわ倶楽部の地域への還元の一つの協力の形になるのではないのでしょうか。

私が所沢に住む要因は自分が関わった松が丘に住みたいと言うことでしたが、列島の方々に比較的大きな地震が頻発したり、火山の噴火が頻発したりしています。所沢の近辺ではそんな異変への心配を比較的思考なくとも良いように思えます。

喜寿を迎える私には今や所沢が終の棲家です。所沢に住んで多くのところざわ倶楽部の友人や俳句を通じて多くの友人とめぐり合えました。この触れ合いを大事に、終括を全うして行きたいものです。



むさし野俳句会（三十年六月）作品抄



老鴛や元校長の珈琲店
竹簾編目ゆるびしさとの家
半身出る風にふくらむ簾かな
青すだれ煤けし梁の手斧跡
路地の街軒並簾下げにけり
高原の飛行機雲や辰雄の忌
房総の宿に散り敷く海紅豆
焼き団子匂ふ参道青簾
誕生を待つ短夜の闇長し
梅雨寒のスロープ長きリハビリ院

橋本 佑子
平栗 彰子
宮本 信生
荒幡千鶴子
飯泉 陽子
井出 昇
海老澤愛之助
粕谷のぼる
河瀬 俊彦
小林 貞夫

短夜や郵便受けに音のして
花栗の匂ひ立ちたり夕間暮
短夜や頑固親爺の腹時計
よしず張り客のはみ出すコロツケ店
短夜やトランク引きて帰る音
夕簾捲けば匂ふや雨後の庭
風薫る手押し車の姥百寿
母の手の骨切り粗き鰯料理
滑らぬやう跨ぐ倒木苔の花
梔子のにほひの濃かり夜の帷

小林 典子
佐藤 八郎
白神 恵子
高梨 千代
高橋三加子
高光 泉
利根川啓一
中嶋 弘子
中村 直子
鈴木 征子

《編集後記》

▼まもなく終戦日を迎えようとしています。あれから73年、戦争は遠い過去の記憶になろうとしています。「広場」では、6月号より「戦争と平和！」と題して会員の皆さまに、戦争の記憶を語り継ぎ、平和への思いを新たにしてくださいのための新シリーズを開始しました。▼去る、6月12日には歴史上初めてとなる米朝首脳会議が開催されました。核廃棄、拉致問題等会議の成果について疑問視する意見もありますが、平和の実現に向けた第一歩になることを期待したいと思います。▼「梅雨」の語源は、梅の実が熟する頃に雨季に入ることから入梅といわれるようになったとか、この頃は湿度が高く黴[かび]が生えやすいため「黴雨[ばいう]」が転じて梅雨になったともいわれています。6月29日には関東甲信は、早くも梅雨明けが発表されました。1951年の統計開始以降最速とのこと、今年も夏本番がやってきました。（川上 記）

川柳「三三」作品発表 中島峯生選

課題「備える」

ろうそくを備えたもののマッチなく
詰めに詰め避難グッズはだれが持つ
無事帰国保険もどせと泣く爺や
定年で備えておいた夫婦旅
体よりサプリの管理に悲鳴上げ
やなこった終活なんてやなこった

「自由句」

もうだめだ孫の足には追いつけず
蚊帳の外蚊帳を知らない世代増え
嫁がきてお手伝いをと福の顔
若さ度を測る決め手は好奇心
今日もまた探し物して日が暮れる
自慢気にちよつと遅れてチアダンス

丘の河童
突拍子
海さとり
りんご好き
庵閑子
鼻鬚

次回(第34回) 課題「小遣い」そして「自由句」、
締切り日：8月20日、担当中島まで、どなたでも

宛先 mh-naka@icom.home.ne.jp

FAX04-2928-1161

「広場」問合せ 玉上 佳彦 (090-2497-1076)